

[トップ](#) [主要ニュース](#) [国内](#) [海外](#) [経済](#) [エンターテインメント](#) [スポーツ](#) [コンピュータ](#) [地域](#) [写真](#) [動画](#)[政治](#) [社会](#) [人](#)

社会ニュース - 3月29日(火)13時29分

検索

ニュース記事

条件検索

<ニホンザル> 発信機取り付けて動き調査 被害防止で 福島

畑を荒らすニホンザルの生息状況を把握するため、福島県西会津町はサルに発信機を取り付けて群れの動きを調査する。市町村単独での実施は県内初。町は「被害額は百数十万円と多額ではないが、高齢者宅の家庭菜園が被害を受け、耕作放棄も起きるなど精神的被害が大きい」（農林課）として、サルの行動パターンを調べて被害を未然に食い止める作戦だ。

調査は、サルの発生が多い同町の奥川地区で捕獲したサルの首に約125グラムの発信機を付けて行う。対象は群れの中で生活する大人の雌ザル5匹。1匹ずつ周波数の異なる発信機を付け、アンテナで電波をとらえて群れの位置を地図上に記録していく。サルの群れは数キロから数十キロの範囲を動くとされ、群れの移動経路を把握して、畑荒らしなどを未然に防ぐ方策を探る。

町では90年代初めから奥川地区の民家そばでサルを見かけるようになり、ジャガイモ、トウモロコシ、スイカなどの家庭菜園が荒らされる被害が徐々に増加。防護ネットや電気さく、猟友会と地元住民による週2回のパトロールなども効果が上がっていない。

町農林課は「いずれは住民自らが無線機を持ってサルの居場所をつかみ現れる前に畑に出て追い払う用意をするなど自衛策につながれば」と期待している。【町田徳丈】

(毎日新聞) - 3月29日13時29分更新

過去の社会ニュース一覧 : 2005年3月29日(火) 表示